

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団

平成 24 年度 事業報告

概要

平成 24 年度は、新法人として 2 年目を迎えたことから当財団の事業について、周知を図るため普及啓蒙活動に一層取り組むとともに、公益目的事業をはじめとする事業内容の充実につとめた。

公益目的事業では、文化観光資源の保護事業、管理事業、普及啓発事業の 3 事業について、年初の事業計画どおり各事業を実施した。

まず、文化観光資源保護事業の助成事業では、募集要項にもとづき応募を行い、本年度も申請のあったすべての保護事業を助成対象とし、これまでと同規模の助成金を交付することで保護事業者の財政負担の軽減につとめた。また、調査研究事業においては、助成申請のあった保護事業の実地調査及び京都市域の文化観光資源の記録収集に取り組んだ。

文化観光資源管理事業では、各管理史跡等について、日常の維持管理と定期的な整備を行うことで適正な保存・保護につとめることが出来た。

普及啓発事業では、事業計画どおりの事業をほぼ実施し、併せて情報発信に積極的に取り組んだことで事業の啓発及び京都の文化観光資源の普及が図れた。

また、会員事業においては、機関誌「会報」の発行はじめ実施事業の充実につとめたことで会員に好評を得た。

法人運営においては、公益財団法人として公益法人制度関係法並びに新定款に則った適正な運営につとめた。募金活動では、会員への更なる支援、協力をよびかけ併せて市民募金運動の推進として、新規の個人会員数の増強に取り組んだ。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業 1）

1 助成事業

（1）対象事業

平成 24 年度に実施される以下の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業。

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物・美術工芸品及び庭園、史跡・天然記念物の保全を行う各事業。

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業。

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院・神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業。

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業。

(2) 申請の応募，受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い，事前相談（4月1日～5月31日）及び申請書の受付（6月30日提出期限）を行った。

(3) 専門委員会の開催，助成対象の選定

○日時 11月16日

○出席者 尼崎博正委員，伊東史朗委員，小椋純一委員，高橋康夫委員，武田恒夫委員，西川幸治委員，森谷尅久委員 以上7名

○決議事項 (1) 専門委員会委員長の選任

(2) 平成24年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

- ・文化財所有者，管理者等の行う文化観光資源保護事業助成対象の選定
- ・伝統行事，芸能の保存及び執行に対する保護事業
- ・文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

○報告事項 平成24年度文化観光資源管理事業の状況

(4) 助成金の交付決定，事業報告

専門委員会において，選定された50件について，11月16日付で，申請者に対し助成金交付内定通知を送付し，第8回理事会（2月27日開催）において，総額6,151万円の助成金の交付を決定した。内訳は，以下のとおり。また，申請者から保護事業報告書の提出（3月15日期限）を求めた。

1) 文化財所有者，管理者の行う文化観光資源保護事業に対する助成

6件 助成金 420万円

2) 伝統行事，伝統芸能の保存及び執行に対する助成

43件 助成金 5,411万円

○伝統行事，伝統芸能の保存に対する助成

2件 助成金 686万円

○伝統行事，伝統芸能の執行・公開に対する助成

41件 助成金 4,725万円

・伝統行事 18件 助成金 4,383万円

・伝統芸能 23件 // 342万円

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

1件 助成金 320万円

助成対象事業及び助成金内訳

1. 文化財所有者，管理者の行う文化光資源保護事業に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
賀茂別雷神社	摂社賀茂山口神社本殿修理工事	1,246	70	70
神泉苑	善女龍王社拝殿修理工事	466	70	70
八坂神社	末社美御前社修理工事	2,460	70	70
建仁寺	開山堂楼門修理工事	3,450	70	70
長得院	本堂障壁画紙本墨画「虎図」・「山水図」修理	321	70	70
真正極楽寺	紙本金地着色「花車図」六曲一双屏風右隻修理	422	70	70
計	6件	8,365	420	420

2. 伝統行事，伝統芸能の保存及び執行に対する助成

1) 伝統行事，伝統芸能の保存に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
(公財)祇園祭山鉾連合会	山鉾(6件)保存修理	931	306	306
内訳 長刀鉾	鉾天井縁星宿図,真木天王様(和泉小次郎親衛像)修理	129	—	—
鶏鉾	角飾金具(下水引用 8点),角飾具(胴掛用・木彫漆箔雲龍模様 4点),鉾天井三角板(漆金箔板)修理	160	—	—
岩戸山	車輪(4輪)修理	200	—	—

南観音山	真木網隠し新調,網隠ししやぐま垂れ新調	183	—	—
鯉山	鯉の鰭(1点),見送り飾房修理,御幣飾房(1対),白幣(1対)新調	72	—	—
放下鉢	車輪修理(前輪2輪)修理	187	—	—
京都五山送り火連合会	各山火床等施設整備	2,085	380	380
内訳 大文字	法面(金尾上部)補修及び火床石設置工事	449	—	—
松ヶ崎妙法	山雑木総刈,法の山火床塗装,階段補修,貯水缶改修各工事,遮蔽木伐採,妙の山火床改修工事	773	—	—
船形万燈籠	火床周辺・通路除草,土砂搬出,通路修復,火床及び貯水缶改修各工事	420	—	—
左大文字	火床修理,貯水用ドラム缶交換,遮蔽木伐採,下草刈,山道段差修理,枯木伐採,収蔵庫屋根塗装各工事	343	—	—
鳥居形松明	貫火床谷側土砂止め,植草工事	100	—	—
計	2件	3,016	686	686

(2) 伝統行事, 伝統芸能の執行・公開に対する助成

○伝統行事

対象

単位:万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,840	675	675
祇園祭協賛会	祇園祭山鉦巡行の執行	8,508	2,000	2,000
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火の執行	2,390	650	650
時代祭協賛会	時代祭行列の執行	2,090	623	623
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明の執行	310	20	20
賀茂競馬保存会	賀茂競馬の執行	725	25	25
藤森神社駈馬保存会	藤森駈馬の執行	350	25	25
糺の森流鏝馬神事等保存会	糺の森流鏝馬の執行	553	25	25
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬山竹伐り会の執行	149	13	13

花脊松上げ保存会	花脊松上げの執行	140	25	25
広河原松上げ保存会	広河原松上げの執行	200	25	25
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げの執行	70	20	20
烏相撲保存会重陽社	烏相撲の執行	78	10	10
西之京瑞饋神輿保存会	瑞饋祭の執行	415	25	25
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供の執行	37	12	6
日野裸踊保存会	日野裸踊の執行	36	6	6
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭の執行	1,054	200	200
桂川舟渡し保存会	松尾祭桂川舟渡御の執行	59	10	10
計	18件	20,004	4,389	4,383

○伝統芸能の部

対象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	255	20	20
平安雅楽会	雅楽の公開	53	15	15
壬生大念仏講	壬生狂言の公開	456	15	15
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言の公開	83	15	15
千本えんま堂大念仏狂言保存会	千本えんま堂狂言の公開	60	20	15
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言の公開	70	20	15
吉祥院六斎保存会	吉祥院六斎の公開	63	15	15
久世六斎保存会	久世六斎の公開	54	15	15
中堂寺六斎会	中堂寺六斎の公開	60	15	15
梅津六斎保存会	梅津六斎の公開	69	15	15
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎の公開	80	15	15
千本六斎会	千本六斎の公開	53	15	15
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎の公開	61	15	15
壬生六斎念仏講中	壬生六斎の公開	60	15	15
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎の公開	50	13	10
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花の公開	43	13	13
今宮やすらい会	今宮やすらい花の公開	130	13	13
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花の公開	95	15	13

上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花の公開	79	13	13
久多花笠踊保存会	久多花笠踊の公開	76	25	25
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊の公開	186	20	20
松ヶ崎題目踊保存会	松ヶ崎題目踊の公開	36	10	10
番匠保存会	上棟祭の公開	54	10	10
計	23件	2,226	357	342
合計	41件	22,230	4,746	4,725

3. 文化観光資源をとりまく自然環境の保全等に対する助成

対象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
(公財)京都古文化保存協会	文化財周辺松喰虫駆除事業	1,003	320	320
計	1件	1,003	320	320

単位：万円

合計	50件	34,614	6,172	6,151
----	-----	--------	-------	-------

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 本年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の実態調査及び写真記録、資料収集を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護・伝承のための資料として供することとした。
- (2) 京都市域の伝統行事・芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源に関して、前年度に引き続き特に「京都の近代仏堂」について京都市文化財保護課担当技師とともに、現地調査と写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財保護連絡協議会、文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめ、各機関と協調して事業の効果的な取り組みについて検討した。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の各協賛会等の会議に参画した。

1) 文化財保護連絡協議会（今年度事務局 財団法人京都文化財団）

開催日：第1回 7月 4日 第2回 11月 29日

京都府教育庁指導部文化財保護課，同文化環境部文化政策課，京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課，同消防局予防部，公益財団法人京都古文化保存協会，財団法人京都文化財団，当財団の7者で構成し，情報交換等を行うとともに，「第24回文化財保護に関する巡回相談」を共同で実施し，相談者に対し当財団の助成事業について案内・説明を行った。

実施日：7月 23日 開催場所：ルビノ京都堀川

2) 文化財防災対策連絡会（今年度事務局 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課）

開催日：第1回 7月 30日 第2回 10月 17日 第3回 12月 18日
第4回 3月 22日

京都府教育庁指導部文化財保護課，同文化環境部文化政策課，同府民生活部消防安全課，同警察本部生活安全部生活安全企画課，同警備第一課，京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課，同都市計画局都市景観部景観政策課，同消防局予防部文化財係，公益財団法人京都古文化保存協会，財団法人京都文化財団，京都大阪森林管理事務所業務課，当財団の12者で構成し，文化財の防災等に関する情報交換を行った。

3) 四大大行事（葵祭，祇園祭，京都五山送り火，時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

四大大行事の円滑な行事の執行に向けて，各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり，協議検討を行った。

II. 文化観光資源管理事業（公益目的事業2）

〈管理対象〉

名勝 雙ヶ岡，史跡 天皇の杜古墳，史跡 醍醐寺境内（栢杜遺跡），天然記念物 深泥池生物群集，史跡 御土居（7カ所），史跡 方広寺石塔，史跡 鳥羽殿跡，史跡 栗栖野瓦窯跡，史跡 平安宮跡（内裏跡，豊楽院跡），史跡 檜原廃寺跡，史跡 蛇塚古墳，史跡 西寺跡，史跡 天塚古墳，史跡 山科本願寺南殿跡，京都市指定史跡 上中城址，京都市指定史跡 大枝山古墳群〈新規〉，京都市登録史跡 福西遺跡公園，京都市登録建造物 島原大門，重要文化財 旧三井家下鴨別邸〈新規〉

以上 26 カ所

1. 文化観光資源の管理業務活動

26 カ所の管理史跡等について、2名の専従職員により日常の巡回を行い、現状の維持及び各地元保存団体と見回り監視等の委託契約を締結し、連携して適切な管理につとめた。また、定期的な整備と危険樹木の伐採、除草、不法廃棄物の撤去等の作業を行い、適正な保存・保護に取り組んだ。本年度に行った主だった整備内容は、次のとおり。

対 象	主な整備内容
名勝 雙ヶ岡	樹木整備（住宅隣接樹木の剪定4月、アラカシ生垣等刈込み7～8月、危険木及び枯損木伐採1月）、除草等
史跡 天皇の杜古墳	樹木整備（ツツジ・サツキの刈込み7月）、照明灯支障木の剪定1月、除草等
史跡 醍醐寺境内（栢杜遺跡）	除草等
天然記念物深泥池生物群集	樹木整備（住宅隣接樹木の剪定4月）、除草等
史跡 御土居（7カ所）	樹木整備（生垣刈込み7月、ツツジ等低木類刈込み7月、枯損木伐採・剪定8月）、殺虫剤散布9月、除草等
史跡 方広寺石塔	樹木整備（低木類の刈込み、松剪定8月）、除草等
史跡 鳥羽殿跡	除草等
史跡 栗栖野瓦窯跡	除草等
史跡 平安宮跡（内裏跡、豊楽院跡）	井戸埋め立て整地6月、除草等
史跡 檜原廃寺跡	樹木整備（低木類の刈込み5月）、除草等
史跡 蛇塚古墳	樹木整備（刈込み・樹木剪定7月）、除草等
史跡 西寺跡	樹木整備（基壇上の樹木剪定7月）、刈草搬出等
史跡 山科本願寺南殿跡	除草等
京都市指定史跡 上中城址	除草等
京都市指定史跡 大枝山古墳群	樹木整備（ツツジ等低木類の刈込み7月、外周ウバメガシの刈込み11月、枯損木伐採11月）、園路階段及び手摺り等の修理11月、除草等
京都市登録史跡 福西遺跡公園	樹木整備（生垣刈込み8月）、除草等
重要文化財 旧三井家下鴨別邸	樹木整備（道路隣接樹木剪定11月）、除草等

2. 調査研究活動

日常の巡回や整備の実施前後において写真記録や資料収集を行い、各史跡等の現状と今後の維持保存のあり方を検討するうえでの記録資料とした。また、専門委員会（11月16日開催）においてそれぞれの管理状況を報告し、委員から今後の保存整備のための具体的方策について指導助言を受けた。

3. 普及啓発活動

「蛇塚古墳」「方広寺石塔」「大枝山古墳群」の内部見学について、見学希望者への便宜や管理史跡等の整備前後の状況をウェブサイトで情報発信を逐次行い、普及啓発と維持保存への協力と支援を呼びかけた。

Ⅲ. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業3）

1. 刊行物の発行

（1）文化財卓上カレンダーの作成

毎年、京都の文化財や観光資源を一般に広く紹介することを目的に“京の文化財卓上カレンダー”を作成している。2013年版は、「京の名所の四季」をテーマに京都の主な名勝地13点を取り上げ2,000部作成するとともに、京都の文化財の良さを広く周知するため一般の希望者にも実費頒布を行った。

（2）当財団発行の「近代京都の名建築」,「京都大文字五山送り火」を一般の希望者に頒布し、普及啓発につとめた。

（3）文化観光資源公開事業において、公開対象文化財の理解を深めてもらうため冊子・解説書を作成し、見学者に配付した。

2. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及向上と所有者・管理者の維持管理に係る財政負担の軽減につとめることを目的に実施している。本年度は、非公開寺院や町家の文化財及び当財団の助成により修復された助成文化財を対象に下記の「文化財特別公開事業」を実施した。また、事業を通じて見学者に協力、支援を呼びかけた。

（1）京の文化財探訪 尼門跡寺院「靈鑑寺」春の文化財特別公開

実施期間 平成24年3月30日～4月8日 見学者数 3,864名

（2）京都市指定有形文化財「長江家住宅－祇園祭屏風飾り－」

実施期間 7月14日～16日 見学者数 2,243名

（3）京の文化財探訪 建仁寺「開山堂(旧護国院)と浴室」文化財特別公開

実施期間 3月16日～24日

見学者数 1,288名

3. ウェブサイトによる発信事業

ホームページを通じて、京都の文化観光資源や実施事業・活動の案内、「会報」寄稿文等の情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げて利用者の拡大につとめるとともに、京都の文化観光資源とその保護や活動への理解と協力を広く呼びかけた。また、法人情報の公開に積極的につとめた。これまでのアクセス状況は、548,385件である。

4. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた功労者として、下記の14名を伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰した。表彰式を2月27日、第8回通常理事会終了後に行った。

〈被表彰者（順不同・敬称略）〉太田 達（糺の森流鏑馬神事等保存会）、岡田 孝司（烏相撲保存会重陽社）、倉貫 博（西之京瑞饋神輿保存会）、藤井 一男（上賀茂さんやれ保存会連絡協議会）、佐藤 照雄（三栖・炬火会）、高見 尚伸（御香宮獅々若会）、竹山 晶夫（壬生大念佛講）、橋本 勝（京都中堂寺六斎會）、渡邊 弘二（壬生六斎念仏講中）、川勝 義弘（六斎念仏上鳥羽橋上鉦講中）、近藤 淳史（西院六斎念仏保存会）、竹林 俊治（八瀬郷土文化保存会）、仁井田孝子（上賀茂紅葉音頭保存会）渡邊 浩一（上高野念佛供養踊保存会）

5. 文化観光資源に関する事業の後援

文化観光資源の保護と活用を目的とする下記の事業を後援・協力し、事業協力を行った。

(1) 「ふるさと文化財の森システム推進事業普及啓発事業」の後援

11月3日～10日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
文化財の専門的技術の普及を目的に、講演・展示等が行われた。

(2) 「第27回醍醐寺大菊花展」の協力 主催：醍醐寺

優秀作品に京都市文化観光資源保護財団賞の交付を行った。

表彰式：12月16日

(3) 第47回「京の冬の旅」の後援

12月1日～3月20日 主催：公益社団法人京都市観光協会
京都の冬季の観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(4) 年中行事「新始め」の後援

1月2日

主催：番匠保存会

当財団の助成対象である京都市登録無形民俗文化財の木遣音頭を伝承する番匠保存会の年中行事として、広隆寺(京都市右京区)で行われた。

6. その他

(1) 報道機関による啓発活動の推進

各種報道機関に対し、当財団の実施事業をそのつど発表し、事業の案内と活動についての理解と支援を呼びかけた。

IV. 会員事業

1. 「会報」及び「平成 23 年度 活動報告」の発行

「会報」は、第 104, 105, 106 号の 3 号を各 2,000 部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者の執筆原稿や事業活動等を掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、保存団体に送付した。

また、平成 23 年度に実施した事業活動及び財務状況など詳しく掲載した年次報告「平成 23 年度活動報告」を 1,500 部発行し、すべての会員に送付した。

「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.104 (24.7.1 付)	歴史的建造物の修理と新たな発見「史跡本願寺境内 旧仏飯所一建物の概要と屋根の推山技法」下条典功氏(財団法人京都伝統建築技術協会・伝統建築研究所), 「京の近代仏堂その 2ー復古主義」清水一徳氏 (京都市文化財保護課技師), 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財の紹介「久多花笠踊ー洛北に伝承される燈籠踊」, ほか
No.105(24.11.1 付)	京都の文化遺産を守り継ぐために「神泉苑の歴史と保存への取り組み」鳥越英徳氏(神泉苑住職), 「京の近代仏堂その 3ー近代的様式の模索」清水一徳氏 (京都市文化財保護課技師), 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財の紹介「相国寺長得院ー本堂障壁画」, ほか
No.106(25.3.1 付)	「障壁画の維持管理と修復」緒方香州氏(相国寺長得院住職), 「京の近代仏堂その 4ー近代社寺建築を支えた大工道具」清水一徳氏

	(京都市文化財保護課技師), 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財の紹介「泉涌寺 釈迦・阿弥陀・弥勒三世仏」, ほか
--	--

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業, 刊行物の案内

会員規程に定める会員のみを対象とした以下の会員事業を実施した。

○京の三大祭観覧招待

葵 祭 (5月16日・雨天順延)	京都御苑建礼門前	観覧者数	216名
祇園祭 (7月17日)	京都市役所前	〃	238名
時代祭 (10月22日)	京都御苑建礼門前	〃	234名

○京の文化財探訪 尼門跡寺院「霊鑑寺」春の特別公開招待

実施期間	3月30日～4月8日	見学者数	65名
------	------------	------	-----

○京都古文化保存協会主催「京都春季非公開文化財特別拝観」招待

実施期間	4月27日～5月6日	見学者数	194名
------	------------	------	------

○「東本願寺」文化財特別鑑賞 実施日 5月12日 参加者数 126名

○京都市指定有形文化財「長江家住宅－祇園祭屏風飾り－」招待

実施期間	7月14日～16日	見学者数	127名
------	-----------	------	------

○伝統行事特別鑑賞

- ・火の祭礼「広河原松上げ」行事特別鑑賞

実施日	8月24日	参加者数	47名
-----	-------	------	-----

- ・重陽の神事「上賀茂神社 烏相撲」行事特別鑑賞

実施日	9月9日	参加者数	47名
-----	------	------	-----

○講演と鑑賞のつどい 近代和風名建築『都ホテル「佳水園」と名勝庭園』

特別鑑賞

実施日	10月30日	参加者数	114名
-----	--------	------	------

○世界遺産「西本願寺」文化財特別鑑賞

実施日	12月17日	参加者数	131名
-----	--------	------	------

○後援事業 京都市観光協会主催「京の冬の旅 非公開文化財特別公開」招待

実施期間	1月10日～3月18日	見学者延べ数	164名
------	-------------	--------	------

○助成文化財特別鑑賞

- ・「八坂神社」助成文化財特別鑑賞

実施日	1月22日	参加者数	91名
-----	-------	------	-----

- ・「真正極楽寺(真如堂)」助成文化財特別鑑賞

実施日	3月9日	参加者数	100名
-----	------	------	------

○京の文化財探訪 建仁寺「開山堂(旧護国院)と浴室」文化財特別公開

実施期間	3月16日～24日	見学者数	92名
------	-----------	------	-----

- 京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者に抽選のうえ進呈
- 「2013年版京の文化財卓上カレンダー」・「京都・文化財ダイアリー(2013年度版)オリジナル手帳」及び同既刊別冊の配布
- オリジナルポストカード“京の三大祭”を申込希望者に進呈
- 優待(割引)事業
 - ・2013年版京の文化財卓上カレンダー「京の名所の四季」の割引頒布
 - ・「京都・文化財ダイアリー(2013年度版)オリジナル手帳」の実費頒布

3. 寄附者の顕彰及び会員状況

京都市文化観光資源保護基金高額寄附者に対して文化観光資源保護協力者として、感謝状を贈呈した。贈呈式を2月27日、第8回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者(敬称略) 1名

安田 守男 京都市文化観光資源保護基金寄附金

また、新たな会員の拡充につとめるため、実施事業において活動案内パンフレットを設置し協力を呼びかけた。

○会員状況(平成25年3月31日現在)

会員区分	法人	個人
特別会員	168	165
普通会員	7	414
賛助会員	11	154
計	186	733

注)平成24年度より新会員規程による会員区分に基づいている。

V. 法人運営

1. 募金活動

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、個人募金の呼びかけを実施事業を通じて行うとともに、会員に対し追加募金の協力を呼びかけた。

(1) 寄附金税制改正への取り組み

新たに創設された新公益法人に対する寄附金の「税額控除」制度について、準備を進め平成25年度に導入申請を行うこととした。

(2) 募金状況

・一般寄附金 495件 3,048,000円

・特別寄附金	88件	1,060,000円
内訳		
文化観光資源保護事業	52件	477,000円
普及啓発事業	1件	3,000円
公益目的事業共通	35件	580,000円
・京都市文化観光資源保護基金寄附金	6件	520,000円
京都市文化観光資源保護基金残高 24年度末見込額		2,817,138,682円

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第5回臨時理事会 5月1日（決議の省略）

議案 定時評議員会招集

報告事項 評議員並びに理事の選任(評議員会決議事項)

出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第6回通常理事会 6月11日

議案 顧問の選任、平成23年度事業報告並びに計算書類の承認、特定資産等取扱規則制定の承認、平成24年度常勤理事の役員報酬、

報告事項 職務執行の状況

出席 理事13名、監事1名

第7回臨時理事会 9月28日（決議の省略）

議案 専門委員会規程の一部改正、専門委員の選任

出席等 提案書に対し、理事16名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第8回通常理事会 2月27日

議案 任期満了に伴う顧問の選任、平成24年度補正収支予算(案)、平成24年度文化観光資源の所有者、管理者等に対する助成金の交付(案)、平成25年度事業計画並びに収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認、規則の改正

報告事項 職務執行の状況、理事の任期満了に伴う改選

出席 理事12名、監事1名

(2) 評議員会

第3回臨時評議員会 5月1日 (決議の省略)

議案 評議員並びに理事の選任

出席等 提案書に対し、評議員23名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第4回定時評議員会 6月25日

議案 理事の選任、平成23年度事業報告並びに計算書類の承認、平成24年度常勤理事の役員報酬

報告事項 平成24年度事業計画並びに収支予算、第6回理事会の決議内容、事業活動状況

出席 評議員15名、理事長、専務理事、理事1名、監事1名

(3) 監査会 5月11日

議案 平成23年度 業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事、理事1名ほか

3. 役員の変動

(1) 第3回臨時評議員会の承認による (5月1日付)

就任 評議員 岡田 秀人 (公益社団法人京都市観光協会事務総長)

〃 北畠 典生 (浄土真宗本願寺派執行長)

理事 中野 洋一 (京都市会くらし環境委員長)

〃 塚本 稔 (京都市副市長)

〃 神山 俊昭 (財団法人京都文化財団常務理事)

退任 評議員 湊 二郎

〃 橘 正信

理事 小林 昭朗

〃 細見 吉郎

〃 鈴木 眞咲

(2) 第6回通常理事会の承認による (6月11日付)

就任 顧問 大西 均 (京都市会議長)

退任 顧問 井上与一郎

(3) 第4回定時評議員会の承認による (6月25日付)

就任 理事 谷口 宗哉 (株式会社三菱東京UFJ銀行執行役員京都支社長)

退任 理事 藪田 健二

(4) 第8回通常理事会の承認による (2月27日付)

任期満了に伴う顧問の選任 平成 25 年 4 月 1 日付・全員再任

就任 顧 問 大西 均 (京都市会議長)
" 山田 啓二 (京都府知事)
" 米倉 弘昌 (一般社団法人日本経済団体連合会会長)
" 立石 義雄 (京都商工会議所会頭)
" 佐藤 茂雄 (大阪商工会議所会頭)
" 大橋 忠晴 (神戸商工会議所会頭)
" 千 玄室 (茶道裏千家大宗匠)

任期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 2 年間

4. 専門委員及び同委員長の選任

専門委員の選任 (第 7 回臨時理事会による承認・9 月 28 日付)

氏 名	職 名	専門分野	備 考
高橋 康夫	京都大学名誉教授	建築史	新任
伊東 史朗	和歌山県立博物館館長	美術史	新任

専門委員会委員長の選任 (専門委員会による決議・11 月 16 日付)

委員長 武田 恒夫 (大阪大学名誉教授)

任期 平成 24 年 11 月 16 日～平成 25 年 9 月 30 日

5. 登記事項

評議員並びに理事の変更登記

評議員 湊 二郎, 橘 正信, 理事 小林 昭朗, 細見 吉郎, 鈴木 眞咲
5.1 付 辞任登記

評議員 岡田 秀人, 理事 中野 洋一, 塚本 稔, 神山 俊昭
5.1 付 就任登記

評議員 北畠 典生 5.1 付 就任登記

理事 藪田 健二 6.25 付 辞任登記

理事 谷口 宗哉 6.25 付 就任登記

6. 行政庁への届出・提出事項

評議員並びに理事変更の届出 5.25 付 届出

平成 23 年度事業報告等に係る提出書 6.25 付 提出

評議員変更の届出 6.20 付 届出

理事変更の届出 7.5 付 届出

平成 25 年度事業計画等に係る提出書 3.11 付 提出